

さくら第522号

令和 5年6月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬 重雄
春江町境 17-7:TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp

か
ね
な
か
つ
た
ど
っ
ち
ち
か
つ
た
た

『顕在能力と潜在能力』

人間の能力には大きく分けて「顕在能力(けんざいのうりよく)と潜在能力(せんざいのうりよく)」があるといわれています。

顕在能力とは、はっきりと形に現れて、自分でもその能力に気づいており、第三者からみてもわかる一般的な能力のことです。

自分自身でも意識していて、まわりからも認識できる能力のことです。

半面、**潜在能力**とは、自分さえも知らない隠れた能力であり、顕在能力よりも質的にも量的にも高い能力のことです。

潜在能力は、何かきっかけがあればその能力をはっきする可能性があります。もとよりその能力にたけていて、あるきっかけでさらに伸びる力をひめています。顕在能力は10%ほどだが、潜在能力は90%もあるといわれます。

「顕」の字の意味には、あきらか、あらわす、あらわれる、目立つ、人の目にはっきり映るようにするなどあります。「在」は、あるという意味です。

「潜」の字には、ひそむ、ひそめる、ひそかになどがあります。また、水の中に深くわりこんでもぐること、すきまから中にもぐりこむの意味があります。

5月14日(日)に福井商工会議所2階でグランプリジャパン福井県予選会が開催され、小学生、中学生、高校生で58名がエントリーし、出場をかけて競いました。7月23日に全国から約350名の選手が出場し、3部門での日本一をめざします。福井県の予選会だからむずかしく、とても参加できるようなレベルでない。

だから出ないという先生方もおられます。

ところが今回、あるそろばん塾の先生から次のような内容の電話がありました。それは、5年生で2級練習中だから全国大会出場ということなど夢のまた夢ですが、合同練習会のつもりで参加したところ、塾の次の練習日にかけて算・わり算・みとり算の3種目を25分で計算しおどろきました。いつもなら30分間で全問できない生徒ですが、さらにビックリしたことはみとり算が100点満点で、いままで一度もなかったことなので本当におどろきました。

予選会には10段の人などがいて、緊張した空気のなかで計算するようすを見ました。あのような真剣な顔をいままで見たことがなく、参加してとてもよかったです。

また、塾でいっしょに練習している仲間もつられて力いっぱい練習するので点数が大きくアップしました。予選会に参加した効果ですと喜んでおられました。

潜在能力は、なにかのきっかけで自身がびっくりするような力を得ることがあります。「**火事場の馬鹿力・かじばのばかちから**」という例えがあるように、切迫した状況におかれるとふだんでは想像できないような大きな力を無意識に出すことです。

緊張した環境のなかで自分をおくことで、考えられないような力を発揮することがあります。

ふだんの練習をより真剣におこなうかが大事であり、そのような体験を積極的に重ねることで、何かのきっかけで大きく成長します。

検定試験と競技大会は自分の力を伸ばすためのよいチャンスです。他人との競争もありますが、大事なことは自分との競争であり、いかにしてレベルアップを図るかです。

人には多くの可能性が眠っています。その可能性を引き出せるかどうかは、その人しだいです。才能があるからと努力しなかったり、眠らせたままにすることもあれば、多くの困難を乗り越えて能力を身につける人もいます。どんな能力が見つけられるか本気で挑戦しよう。真剣にすればずい分伸びる人がいます。